

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	介護保険事業費特別会計	所管課	介護保険課 ほか3課
まちづくりテーマ	重点施策名		
2.誰もが、豊かに生活し、支えあう社会をつくる	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
日本の総人口は減少傾向だが、高齢者人口は増加傾向が続いている。藤沢市の人口は2035年をピークに減少傾向に転じる見込みだが、高齢者人口については、65歳から74歳の人口が2040年にピークとなり、さらに75歳以上の人口は、その後も急激に増加する見込みである。一般介護予防事業については、介護予防やフレイル予防についての普及・啓発を図るため、各種事業を実施する。 KPIについては、次のとおり。 活動指標…介護予防事業の実施回数:令和5年度…371回 令和6年度…324回 令和7年度…352回 目標値…438回 達成率…80.4% 成果指標…介護予防事業の実参加者数:令和5年度…709人 令和6年度…720人 令和7年度…711人 目標値…1,000人 達成率…71.1% 指標の達成状況:身近な地域で介護予防に取り組めるよう13地区で介護予防事業を展開した。地区によっては参加者が少ない現状もあったことから、各地区の課題を分析評価しながら事業を展開していきたい。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
地域包括支援センター活動報告(一般介護予防事業に関する相談):令和5年度…85件 令和6年度…77件 令和7年度…286件			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
地域共生社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの推進に向けた介護予防・日常生活支援総合事業をはじめとする地域支援事業の各種サービスを実施し、高齢者の自立支援・重度化防止等を実現する。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
身近な地域で介護予防に取り組めるよう、13地区で介護予防事業を展開することにより、基本目標5に示す「住み慣れた地域において、健康で、安心して自分らしく暮らし続けられること」が推進された。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高齢者の在宅・介護サービス	2.98	2.95	3.14
把握した市民等のニーズとその対応			
「藤沢市高齢者の保健・福祉に関する調査」を令和7年度に実施し、その結果を踏まえ、藤沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定委員会等において審議する内容等をもとに「いきいき長寿プランふじさわ2029」を策定する。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
一般介護予防事業については、介護予防やフレイル予防に関する普及啓発や正しい知識の習得機会の提供を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で安心して、いつまでも自分らしい生活を送ることができるように支援しているため。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	下水道事業費特別会計	所管課	下水道計画業務課ほか3課
まちづくりテーマ		重点施策名	
1.安全で安心なまちをつくる		災害対策の推進と消防・救急体制の充実	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
令和6年に発生した能登半島地震において、下水道の重要さが再確認された。下水道の地震対策は市民の安全安心に直結するものであり、着実に進める必要があることから、ふじさわ下水道中期経営計画に沿った事業を実施し、下水道の強靱化を図る。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
ふじさわ下水道中期経営計画「基本方針2自然災害にまけないまちづくり」【施策6】下水道施設の計画的な地震・津波対策の推進(ハード対策)に基づき、計画的な地震・津波対策を推進する事業			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
①管路の耐震化済の避難施設数:30施設(2025年度実績:28施設) ②緊急輸送道路や幹線管きよのマンホール浮上抑制対策実施率:66%(2025年度実績:59%) ③浄化センター・ポンプ場の耐震・耐津波対策進捗率:52%(2025年度実績:23%)			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
下水道施設の地震対策を行うことにより、基本目標1に示す「地震・津波災害、激甚化する風水害、都市災害等への総合的な取組の強化」が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
災害に対して、市民が不安なく暮らせること	3.17	3.09	3.09
把握した市民等のニーズとその対応			
社会基盤インフラの老朽化とともに近年頻発している災害等を踏まえ、市民意識調査の結果においても満足度が低下している。このため、中期経営計画に掲げた耐震・耐津波事業や被災時業務継続対策事業を確実に実施していく必要がある			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 □インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
まちづくりコンセプトに定める「地域の強靱化をはじめとした防災・減災対策に取り組み、地震・津波・風水害等の災害に強い安全・安心な藤沢」を築くことで、持続可能な都市を築くことができる。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	住み続けられるまちづくりを
②	
③	

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	市民病院事業会計	所管課	病院総務課
まちづくりテーマ		重点施策名	
4.都市の機能と活力を高める		都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
藤沢市民病院の西館は1989年(平成元年)の竣工以来、給排水管及び空調換気設備の抜本的な改修は行っておらず、漏水などのトラブルが頻発している。 西館には手術室をはじめとする病院の主要な機能を担う諸室がある。 高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院として、患者が安心して受けられる医療を継続的に提供し、地域全体で治し支える地域完結型の医療を目指すため、老朽化した西館等の再整備を行う必要がある。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
持続可能な地域医療体制の確保 ・老朽化した施設の整備 ・医療機能の充実 ・医療DXの推進 ・災害時及び感染拡大時の医療提供 ・コスト削減・省エネ・拡張性の追求			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
・地域医療構想を踏まえた病床数の決定 ・再整備手法の決定 ・工事発注方法の決定とそれに伴う事業者選定			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
藤沢市民病院西館等を再整備することにより、基本目標1に示す「地震・津波災害、激甚化する風水害、都市災害等への総合的な取組の強化」、基本目標5に示す「きめ細かな保健、医療、福祉、介護の充実」が図られた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民病院や身近な医療機関など、いつでも安心して受けられる医療の体制について	3.55	3.57	3.33
把握した市民等のニーズとその対応			
藤沢市民病院が属する、湘南東部二次保健医療圏の将来患者数は、入院、外来とも、2025年から2050年にかけて一貫して増加する見込みである。今後も、市民が安心して受けられる医療を継続的に提供することを目指す。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 □インクルーシブ藤沢 □スマート藤沢
本事業により、安心して受けられる医療を継続的に提供し、まちづくりコンセプト1(サステナブル藤沢)に示す、「医療・福祉など、本市の総合的な暮らしやすさを高めるための取組」に貢献していく。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	すべての人に健康と福祉を
②	住み続けられるまちづくりを
③	